



学校だより 12月号
鶴 子

令和7年11月28日(金)

内灘町立鶴ヶ丘小学校

校訓 強く 正しく すこやかに

I'm OK. You're OK.

校長 堀井 洋一

今年も残すところ1か月となりました。11月上旬の教育ウィークでは学校公開、鶴小ランフェス、PTA親子講演会などの行事にたくさんの皆様の参加をいただきありがとうございました。また、各学年で校外学習やゲストティーチャーを招いた特別授業がありました。普段とは違う「学び」を味わうことができたようです。

休み時間になると子どもたちは学年や男女関係なく運動場や体育館で元気に遊んでいます。また、授業でのグループ活動ではお互い意見をぶつけ合ったり考えを出し合ったりしながら課題に向かっています。

こうした子どもたちの関わり合いや協力して学習をしている姿を見ていると、ある言葉を時折思い出します。それが今回のタイトルでもある『I'm OK. You're OK.』です。この言葉は、私が教員1年目に受けた研修（講義）のタイトルです。それから30年以上経っていますが強く印象に残っていて、人との関わりにおいて大切な考え方だと思っています。OKの意味を「満足」、「幸せ（幸福）」と捉えると『I'm OK. You're OK.』は「**自分にとっても相手にとってもよい関係性**」という意味になります。

自分の行動を決める基準として「自分が楽しいか」「自分にとってプラスになるか」は誰もが考えることだと思います。学校でも、多くの子どもたちが「自分にとって…」を考えて行動しています。しかし、その意識が強すぎると全体としてうまく進まなかったり友だちとトラブルになってしまったりします。「プラスにするつもりがマイナスに働く」事態に陥ってしまいます。

大切なことは、様々な場面で、自分のことだけではなく相手のことも考えられるようになっていくことです。学校では、子どもたちが相手意識をもてるように授業や行事のふりかえりを重視しています。「～さんの意見が分かりやすかった。」「～さんに喜んでもらえてうれしかった。」「～年生が楽しそうだった。」といった思いをもつことで「自分にとっても相手にとってもよい行動」に気づいてほしいと考えています。

12月10日は「世界人権デー」です。日本では12月4日から10日までを「人権週間」と定めています。学校では「**自分を大切にし、相手も大切にする**こと」ができるよう人権週間にあわせて道徳の時間に「思いやり」について考える学習を行います。子どもたちが『I'm OK. You're OK.』の関係性を築くことができるよう、保護者、地域の皆様におかれましても、子どもたちのよい姿や行動をあたたかい目で励ましていただきますようお願いいたします。